



# 沓掛小学校だより

6月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 579

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 学校外の学習で得る力

校長 師岡 孝明

5月後半から非常に暑い日が続き、すでに東京都心では今年度「真夏日」を観測する日まで出てきました。関東内陸部の宇都宮では、5月に3日連続で真夏日が観測されたようで、これは昨年度同様で気象観測以来2回目だそうです。最近の日本国内の気候を見ていると、5月から非常に暑い日が続いているような気がしているのは私だけでしょうか。

暑い日が多くなると気を付けなければならないのは「熱中症」に対する対策です。水分補給はもちろんですが、喉の渇きを感じる前に水分摂取を心がけることが重要です。

学校において学習する内容に「特別活動」という領域があります。この特別活動の中身は「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」の4つから成り立ちます。4月から実施している、1年生から4年生の遠足や6月及び10月に実施します移動教室は、この学校行事の中の「遠足・集団宿泊的行事」にあたります。今年3月に告示されました新学習指導要領における学校行事の目標は、「全校または学年の児童で協力し、より良い学校生活を築くための体験的な活動を通して、(以下略)。」となり、児童間の協力及び体験的な活動が大きな目標になりました。

今年度実施しました遠足を振り返ってみますと、すでに沓掛小学校では、この新学習指導要領に基づく具体的な体験活動の中で子供たち相互の協力関係を築くことを目標に遠足を実施しています。

1年生は小学校生活初めての遠足で「しながわ水族館」に行きました。昼食後は、学級内の班で館内を見学しました。班での見学ですと一人一人が一層慎重になりますが、じっくり生き物の見学ができます。仲間意識をもたせるのに欠くことの

できない活動でした。

2年生は「野川公園」に遠足に行きました。公園内では、グループごとに決められた範囲の中で春の自然を満喫する活動を行いました。タンポポを見つけて指輪を作ったり、木のまわりを数人で手をつなぎ木の大きさを測ったりと、自然の中でしか味わえない活動になりました。一人一人に感想を尋ねたところ、「木から声がした。」「草のにおいが気持ちよかった。」など学校内では味わえない体験となりました。

3年生は「昭和記念公園」に行きました。当日はとても暑い日でしたが、子供たちは、遊具のルールを守って楽しく遊んでいました。特に「虹のハンモック」は誰もいない状態での遊びになりましたので満足感100%というところだったと思います。昭和記念公園という広い園内で体をたくさん動かした体験は何にも勝るよい経験だったと思います。

4年生は、「高尾山」です。翌年の富士学園移動教室で登る高座山を念頭においたハイキングです。廊下に掲示されています。子供たちの作文を読むと「友達と声を掛け合って登った。」「疲れたけど頂上でみんなと食べたお弁当がおいしかった。」など、一つの困難を友達の力を借りて克服し、その後の楽しみを満喫していることが伝わりました。

どの学年においても校外で活動する行事に対しては、子供たちの成長を促すための活動を考え実践しています。教室内だけの学習が学校教育ではありません。このように児童が校外に出て得るものは、児童自身にとって非常に重要な経験になります。児童一人一人に付けさせたい力を達成するためにも、学校内外の教育活動を今後とも最大限生かした実践を行います。